

Azalea

号外 セミコンダクター事業 構造改革

発行所 パナソニック デバイス労働組合 長岡京支部

発行人 南俊幸 編集人 経営政策

長岡京支部HP <http://www.pidungk.com/> / (最新組合情報をアップしてます!)

職場報告⑩

PSCS社組織体制(BU・統括部レベル)に関する諮問について

2014年6月のパナソニックセミコンダクターソリューションズ株式会社(以下PSCS社)設立に向け、これまでの半導体事業の構造改革論議においても、改革後の目論見やその組織体制について、早い段階での提示を求めてきました。その結果、PSCS社の組織体制(BU・統括部レベル)について3月7日(金)に会社より組合へ諮問がされましたので報告します。職場でのご理解をよろしくお願いします。

■PSCS社の組織体制(BU・統括部) 諮問内容

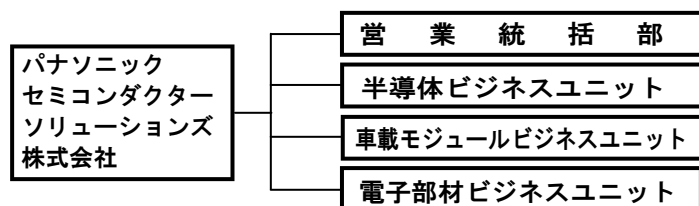
2014年2月4日付で貴組合に申し入れました通り、2014年6月1日付で、「事業一元化による個別最適解消と業務効率化」「ソリューション強化に向けたシナジー最大化」「自主自立マインドの形成」を実現し、より一層総合力が発揮できる自主独立した新たな経営体制を構築することを趣旨として、セミコンダクター事業部、PIDDSC社、PIDOSC社を統合し、AIS社傘下のパナソニック100%出資会社である、パナソニックセミコンダクターソリューションズ株式会社として事業を開始いたします。つきましては、新設する会社の傘下の組織体制(BU・統括部)につきまして、下記の通りといたしたく、貴組合におかれましては、諸事情ご賢察の上、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

<趣旨及び内容>

新会社の組織体制については、現在のセミコンダクター事業部、PIDDSC社、PIDOSC社の機能を統合・再編し、「半導体、車載モジュール、電子部材を柱とする責任と権限を明確にした事業体制と、スタッフ等の機能集約による効率的な運営体制」を基本に、新会社設立の趣旨をふまえた、事業計画を必達するための最適組織体制を構築いたします。具体的には、①「営業統括部」を設置し、国内・海外の営業・マーケティング機能を担当する。②「半導体ビジネスユニット」を設置し、現在、セミコンダクター事業部、PIDDSC社、PIDOSC社傘下の、半導体事業を担当する。③「車載モジュールビジネスユニット」を設置し、現在、セミコンダクター事業部車載モジュールディビジョン傘下の、車載モジュール事業を中心に担当する。④「電子部材ビジネスユニット」を設置し、現在、PIDDSC社傘下の部品事業を中心に担当する。

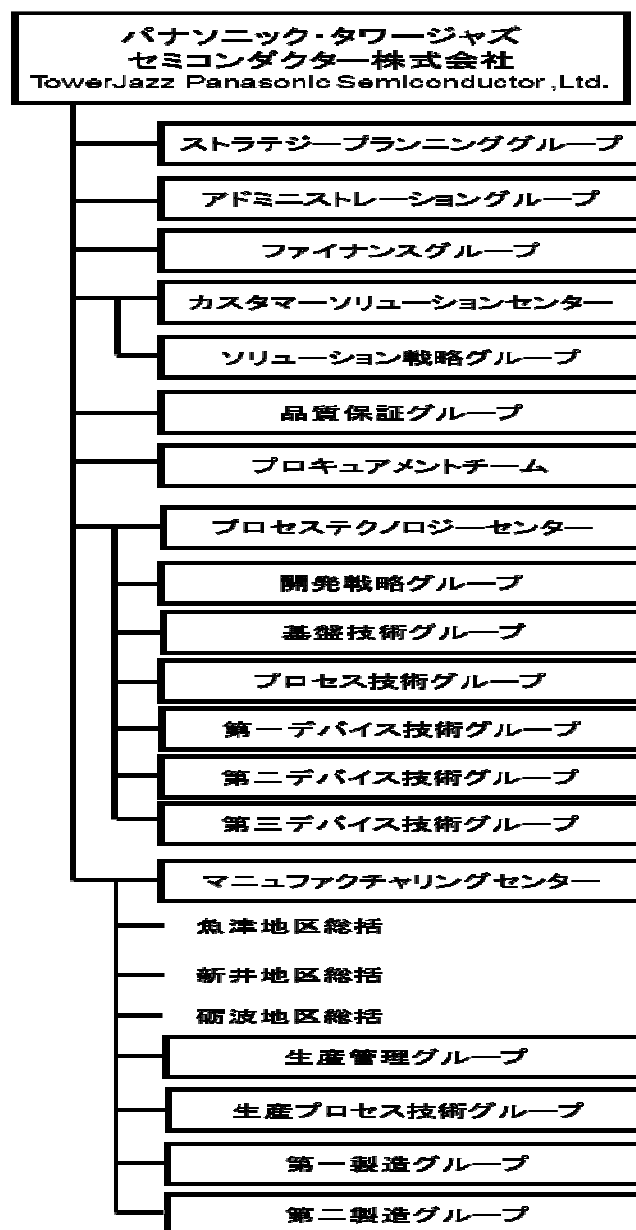
<組織体制>

実施日 2014年6月1日



■パナソニック・タワージャズセミコンダクター株式会社の組織体制について

2014年4月1日付で設立する、パナソニック・タワージャズセミコンダクター株式会社の組織体制については、右記の通りとなります。



■今後について

今回は、BU・統括部レベルの組織体制が明らかになりました。今後、会社が現在検討中である、センター・グループについては諮問され次第機関紙を通じて報告していきます。

また、個々の役割、組織運営については、労使協議会等の場で確認していきます。

セミコンダクター事業部営業部門の組織諮問について

セミコンダクター事業部の営業部門については、度重なる組織変更や、全社重点プロジェクトの推進加速を図るべく、セミコンダクター事業部在籍営業人員の一部をインダストリアル営業本部へシフト（大量異動）してきました。これらの施策に対して、職場の不安を解消すべく、組合として営業部門としての事業の方向性、選択と集中する事業及び体制を早期に明確化し、全従業員に落とし込み周知徹底することを求めてきました。今回、会社より新たな組織体制について諮問されましたので報告します。

■趣旨及び内容

既にご高承のとおりセミコンダクター事業部におきましては、3年連続の大幅減収・大幅赤字という「事業存続の危機」からの早期脱出とパナソニックセミコンダクターソリューションズ（株）の設立に向けて新たな成長を実現するため、特にセンシング・オプト・パワマネ・通信の4事業に経営資源を集中して強みのある6ソリューション（車載カメラ、車載HMI、車載照明、BMS、パワー制御、スマートカード）で事業拡大を図ります。2014年度の事業計画必達は言うまでも無く、事業計画を上回る増販を実現することが、必要不可欠であります。

このような背景の下、「短期ではAV・家電・ICT分野で主要大手顧客向け販売を堅持して、中長期では車載マルチメディア・電装分野、産業・インフラ分野の販売を拡大」することを狙いとして活動して参ります。業界のサプライチェーンを俯瞰し、その市場・顧客に直結した販売活動へと変革するためにマーケティングと開発営業の強化を図ります。

強い商品・サービスを自ら創り、販売の最大化と持続的な成長性の確保を図るために各ディビジョン営業・マーケティング機能を一体運営し、組織を大括り化いたします。これらの取り組みにより半導体事業の成長とパナソニックの発展に向けて増販の実現を図ってまいります。

<内容>（各組織の機能については下記参照）

営業総括の体制について

- ①「市場開発グループ、マーケティンググループ、営業推進グループ」を新設する。
- ②「オートモティブ統括部 車載戦略グループ、国内営業グループ、海外営業グループ、車載モジュール営業グループ」を新設する。
- ③「営業総括一部、営業総括二部」を解消し、「インダストリアル総括部」を新設する。
- ④「インダストリアル総括部 営業戦略グループ、第一営業グループ、第二営業グループ、第三営業グループ、第四営業グループ」を新設する。
- ⑤「海外営業統括」を解消し、「営業総括 海外総括部」を新設する。
- ⑥「海外総括部 グローバルデザインイングループ、リージョナル営業グループ」を新設し「海外営業総部」の機能を移管する。
- ⑦「アナログICディビジョン、システムインテグレーション、イメージセンサディビジョン、パワーデバイスディビジョン、光半導体ディビジョン、PID DSC（株）、PID OSC（株）の事業戦略（マーケティング）・営業・商務」の機能を「営業総括 営業推進グループ、各総括部」へ移管する。
- ⑧「セールスプロモーショングループ」を解消し、「マーケティンググループ、営業企画グループ、グローバルデザインイングループ」へ機能移管する。

